

211994  
昭和 5 年 9 月 14 日

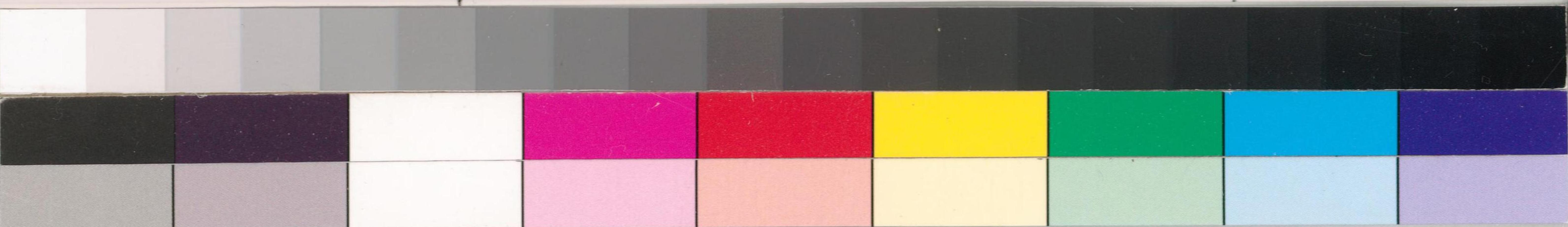
告白

吾國憲政施行既二十年ラ經テ其ノ左翼  
見立ニモアトト雖輿論指導ト政黨  
之行用止リテハ未ク全ク備ハラケルモノアリ  
各政黨ノ言動或憲法既達ノル原則  
上相持格スルノ病ヲ陥リ或ハ國務ヲ以テ  
取私殉ル弊致ニ或ニ宇内ノ大勢  
對ニ維新嘗謨ト相容レサルノ陋ニ形シ  
外帝國ノ光輝、揚ケ内國民之信賴  
合於道博モ免レヌ博文、憂ヨ並  
抱フヤ久ニ今ヤ同志ヲ集合シ其ノ運行ス。

伊藤博文文書

32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68

国立国会図書館 伊藤博文関係文書(その1)書類の部 201-5



輿論指導等  
改進のため  
政治の進行  
を敵にせん  
害り其の道  
キタリスル事  
モノナリ即ち

帝國憲法ノ施行既二十年ヲ經テ其ノ効果  
見ルヘキモノアリト雖輿論ノ指導ト政黨  
ノ作用トニ至リテハ未タ全ク備ハラサルモノアリ  
各政黨ノ言動或憲法ノ既ニ定メタル原則  
ト相扞格スルノ病ニ陷リ或ハ國務ヲ以テ黨  
派ノ私殉エルノ弊ヲ致シ或ハ宇内ノ大勢力  
對スル維新ノ宏謨ト相容レサルノ陋ニ形シ  
外帝國ノ光輝ヲ揚ケ内國民ノ高言ラ繁  
ノミ於テ遺憾アルヲ免レヌ博文ノ憂ラ茲  
抱クヤ久シ今テヤ同志ラ集合シ其ノ遵行スル



32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68



所、趣旨ヲ以テ世ニ質スニ方リ 脣カ黨派、

行動ニ對シテ予カ希望ヲ披陳スヘシ

其簡拔擇用

抑、閣臣ノ任免ハ憲法上ノ大權ニ屬シ政黨

貪ヨリ簡拔セラル、モ黨外ノ士ヲ擇用セラ

モ固ニ、元首ノ自由意思ニ存ス而シテ其

已ニ舉ケラレテ輔弼ノ職就キ 獻替日ノ事

ラ行フヤ黨貪政友ト雖決シテ外ヨリ之ニ容

喙スルラ許サス此本義ヲ明ニセサトハ或ハ國害

政運用ヲ誤リ或ハ權力ノ争奪、陷言

フーカラサルモノアラムトス予ハ同志ヲ集ムルニ於

テ全ク此ノ弊竇ノ外ニ超立セムコトヲ期ス

凡ソ政黨ノ國家ニ對スルヤ其ノ勢力ヲ舉<sub>全</sub>

一意公奉スルラ以テ任トセサルカラス 行政ヲ制

振シテ以テ國運ノ隆興ニ伴ハシメムトセハ適

當ノ學識經驗ヲ備フル人オヲ收メサルカラス

之ヲ收ムル固ヨリ黨ノ内外トラ門フヘカラスト雖

赤黨貪タルノ故ラ以テ漫<sub>他物</sub>與<sub>之</sub>切<sub>合</sub>不<sub>論</sub>セナカニハ斯ミ

許<sub>戒</sub>スヘカラス乃ニ地方若久團体利害ノ問題

ニ至リテハ赤一ニ公益ヲ以テ準ト為シ緩急

按シテ之カ施設ヲ決セサルカラス郷黨ノ情實

泥モ若ク不當業ノ請託ヲ受ケ興フルニ黨  
援ラ以テスルカ如キ、亦斷シテ不可ナリ予ハ同  
志ト共ニ此ノ如キ、陋套ヲ一洗セシコトヲ希

政黨ニシテ國民ノ指導タラムト欲セハ先ツ自  
立憲政友會ヲ設ケ以テ黨派ノ宿弊ヲ  
改メムコトヲ企ツルモノ區々ノ心聊カ帝國憲  
其ノ用廢セムノミ博文竊ニ自カラ揣ラス同志  
ト立憲政友會ヲ設ケ以テ黨派ノ宿弊ヲ  
改メムコトヲ企ツルモノ區々ノ心聊カ帝國憲

政ノ將來、裨補シテ報効ヲ萬一ニ希圖セム  
トスル、外ナラス茲ニ會ノ趣旨トスル要領ヲ  
具シ以テ天下同感ノ士ニ問フ



